

平成27年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月6日

上場取引所 東

上場会社名 カネコ種苗株式会社

 コード番号 1376 URL <http://www.kanekoseeds.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 金子 昌彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役財務部長

(氏名) 長谷 浩克

TEL 027-251-1619

四半期報告書提出予定日 平成27年1月9日

配当支払開始予定日

平成27年2月16日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第2四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第2四半期	24,801	4.7	537	28.7	597	27.1	372	30.9
26年5月期第2四半期	23,692	1.8	417	109.7	470	101.1	284	104.8

(注) 包括利益 27年5月期第2四半期 545百万円 (48.7%) 26年5月期第2四半期 366百万円 (85.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第2四半期	31.68	—
26年5月期第2四半期	24.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
27年5月期第2四半期	34,003	42.3	14,395	42.3	—	—	1,225.81	
26年5月期	40,773	34.3	14,003	34.3	—	—	1,192.38	

(参考) 自己資本 27年5月期第2四半期 14,395百万円 26年5月期 14,003百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年5月期	—	10.00	—	13.00	23.00
27年5月期	—	11.00	—	—	—
27年5月期(予想)	—	—	—	13.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成27年1月6日)公表いたしました「剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	6.2	2,000	10.4	2,100	9.3	1,250	9.4	106.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年5月期2Q	11,772,626 株	26年5月期	11,772,626 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年5月期2Q	28,968 株	26年5月期	28,237 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年5月期2Q	11,744,071 株	26年5月期2Q	11,747,375 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出企業における円安等の影響からの好業績や、株価が概ね堅調に推移するなど景気回復の兆しがみられたものの、GDPが2四半期連続マイナス成長と消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動に苦しみ、また中国やその他新興国の成長鈍化の影響が懸念され、先行き不透明な状況で推移しております。

国内農業の状況は、少子高齢化による食料消費の減少や農家の後継者不足等の従前からの課題に加え、米価安及び青果安や円安に伴う輸入飼料の値上がりが畜産業を圧迫するなど、厳しい状況となっております。

こうしたなか当社グループの業績は、施設材事業及び種苗事業が好調に推移し、売上高248億1百万円で前年同四半期比11億8百万円(4.7%)の増収となり、利益面でも営業利益5億37百万円で前年同四半期比1億19百万円(28.7%)増、経常利益5億97百万円で前年同四半期比1億27百万円(27.1%)増、四半期純利益3億72百万円で前年同四半期比87百万円(30.9%)増となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

種苗事業

種苗事業においては、輸出を中心にタマネギ・キャベツ・カボチャ・ニンジン等の野菜種子が好調に推移し、売上高32億91百万円で前年同四半期比5.8%の増収となりました。

花き事業

花き事業においては、家庭園芸用品への需要が低迷するなか新商材の企画営業に努めたものの、売上高34億91百万円で前年同四半期比微減となりました。

農材事業

農材事業においては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や、西日本を中心に天候不順で防除機会が喪失したことなどから農薬の販売が減少し、売上高95億86百万円で前年同四半期比2.8%の減収となりました。

施設材事業

施設材事業においては、前期発生した震災復興に伴うイチゴ向け養液栽培プラントの需要が一巡したものの、昨年2月の大雪で倒壊した農業用施設の復旧に伴う温室関連資材等の販売が増加し、売上高82億97百万円で前年同四半期比17.6%の大幅増収となりました。

造園事業

売上高1億33百万円で前年同四半期比微減となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

第2四半期連結会計期間末における「資産の部」の残高は、340億3百万円となり、前連結会計年度末と比較して67億69百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

また、「負債の部」の残高は、196億8百万円となり、前連結会計年度末と比較して71億61百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

「純資産の部」の残高は、143億95百万円で前連結会計年度末と比較して3億91百万円の微増となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して1億21百万円増加し、21億29百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、12億9百万円(前年同四半期比28.2%減)となりました。

これは主に、仕入債務の減少額94億68百万円が、売上債権の減少額82億21百万円を上回ったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億9百万円(前年同四半期比12.9%増)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出1億19百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、14億39百万円(前年同四半期比1.6%減)となりました。

これは主に、営業活動により使用した資金を、短期借入金で調達したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、前記の状況により上半期の業績が順調に推移したことに加え、下半期も施設材事業において、当初の見通しを上回る雪害復旧需要が見込まれることなどを勘案し、業績予想を下表のとおり修正いたします。

平成27年5月期通期連結業績予想数値

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	58,000	1,830	1,950	1,170	99 62
今回修正予想 (B)	60,000	2,000	2,100	1,250	106 44
増減額 (B - A)	2,000	170	150	80	—
増減率 (%)	3.4	9.3	7.7	6.8	—
(ご参考)前期実績 (平成26年5月期)	56,505	1,811	1,920	1,142	97 29

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法については、期間定額基準を継続適用し、割引率の決定方法については、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

これに伴う当第2四半期連結累計期間の期首の利益剰余金及び当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,341,780	2,462,926
受取手形及び売掛金	22,956,987	15,331,969
商品	5,964,955	5,729,069
その他	1,667,362	2,169,670
貸倒引当金	△80,082	△52,953
流動資産合計	32,851,002	25,640,682
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,202,419	4,202,419
その他(純額)	1,676,925	1,710,130
有形固定資産合計	5,879,344	5,912,549
無形固定資産	68,789	86,442
投資その他の資産		
その他	1,989,294	2,381,552
貸倒引当金	△15,293	△17,631
投資その他の資産合計	1,974,000	2,363,920
固定資産合計	7,922,134	8,362,912
資産合計	40,773,136	34,003,595
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,099,739	13,315,809
短期借入金	1,435,000	3,235,000
未払法人税等	452,426	228,461
その他	1,273,337	1,309,979
流動負債合計	25,260,504	18,089,251
固定負債		
退職給付に係る負債	1,226,068	1,223,019
役員退職慰労引当金	200,180	207,380
その他	82,586	88,429
固定負債合計	1,508,835	1,518,829
負債合計	26,769,339	19,608,080
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,267	1,491,267
資本剰余金	1,765,221	1,765,221
利益剰余金	10,578,281	10,797,640
自己株式	△17,847	△18,556
株主資本合計	13,816,922	14,035,572
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	269,727	436,280
退職給付に係る調整累計額	△82,852	△76,338
その他の包括利益累計額合計	186,874	359,942
純資産合計	14,003,797	14,395,514
負債純資産合計	40,773,136	34,003,595

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
売上高	23,692,238	24,801,055
売上原価	19,998,008	20,903,620
売上総利益	3,694,229	3,897,435
販売費及び一般管理費	3,276,256	3,359,544
営業利益	417,972	537,891
営業外収益		
受取配当金	22,752	28,194
受取家賃	30,546	30,638
その他	14,153	16,453
営業外収益合計	67,452	75,286
営業外費用		
支払利息	14,709	15,339
その他	389	19
営業外費用合計	15,098	15,359
経常利益	470,326	597,818
特別利益		
固定資産売却益	—	30
特別利益合計	—	30
特別損失		
固定資産処分損	122	—
特別損失合計	122	—
税金等調整前四半期純利益	470,204	597,849
法人税等	185,900	225,813
四半期純利益	284,304	372,036

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日)
四半期純利益	284,304	372,036
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	82,157	166,552
退職給付に係る調整額	—	6,514
その他の包括利益合計	82,157	173,067
四半期包括利益	366,461	545,103
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	366,461	545,103

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	470,204	597,849
減価償却費	95,622	93,794
売上債権の増減額(△は増加)	6,972,989	8,221,279
たな卸資産の増減額(△は増加)	597,954	41,007
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,352,454	△9,468,699
その他	△177,648	△279,931
小計	△1,393,331	△794,700
法人税等の支払額	△298,353	△427,947
その他	6,393	13,390
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,685,292	△1,209,257
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△94,198	△119,676
その他	△2,445	10,519
投資活動によるキャッシュ・フロー	△96,644	△109,156
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,610,000	1,650,000
配当金の支払額	△139,845	△151,708
その他	△7,772	△58,731
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,462,382	1,439,560
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△319,553	121,145
現金及び現金同等物の期首残高	1,804,157	2,008,280
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,484,603	2,129,426

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成25年6月1日 至平成25年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	造園 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	3,112,411	3,524,820	9,862,420	7,057,699	134,888	23,692,238
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,682	—	675	2,495	—	12,852
計	3,122,093	3,524,820	9,863,095	7,060,194	134,888	23,705,090
セグメント利益又は損失（△）	376,519	△72,947	108,145	381,090	△6,233	786,574

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	786,574
全社費用（注）	△368,602
四半期連結損益計算書の営業利益	417,972

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成26年6月1日 至平成26年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	造園 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	3,291,476	3,491,859	9,586,651	8,297,474	133,595	24,801,055
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,504	191	627	2,064	—	17,386
計	3,305,980	3,492,050	9,587,278	8,299,538	133,595	24,818,441
セグメント利益又は損失（△）	433,815	△89,880	48,116	530,200	△3,488	918,763

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	918,763
全社費用（注）	△380,872
四半期連結損益計算書の営業利益	537,891

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。